

(平成31年度)綾部商工会議所 経営発達支援計画事業 実績報告シート

事業内容	実施項目	年度目標	結果	目標達成度	評価委員による評価・意見など
1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】	景況調査の実施	年4回	年4回 100社	C	(意見) 経済動向調査、各機関との連携会議、京都府経済の動向の確認などに合わせて事業者を巡回する中から収集される経営課題をはじめとした様々な情報を、会議所独自の視点で集計・整理することにより、地域事業者の動向を分析し、その結果から対応方針を策定することが重要だと思います。経済動向等の分析と会員への情報提供に期待します。
	景況調査の分析・公開	年4回	会報誌 年4回		
	金融機関の調査による実態把握	適宜	0回		
	「京都府経済の動向」による整理・分析	適宜	0回		
2. 経営状況の分析に関すること【指針①】	巡回件数	500件	548件	C	(意見) 財務分析や専門家派遣は目標を下回っていますが、巡回が極端に減少した訳ではなく、目標数を達成できていることが評価できます。ニーズが少なかったのではないのでしょうか。なお、財務分析については、地域的な特性も踏まえた客観的な評価結果を事業者へフィードバック出来る仕組みが有るとよいと思います。
	財務分析件数	50件	28件		
	専門家派遣 件数	4件	1件		
3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】	事業計画策定支援目標数			D	(意見) 事業計画策定ニーズや専門家派遣ニーズは今後コロナからの立ち直りを図る事業者を中心に増加が見込まれます。従って会議所と金融機関共催のセミナー開催を検討されてはいかが。 (意見) 事業計画や創業計画は、モニタリングも含めてその必要性を啓蒙していくことが重要であると思われますが、まずは実施項目にもあるセミナー参加者をさらに増やす取り組みを行ってはどうでしょうか。 (意見) 創業や事業承継に関する啓蒙活動を地域全体でより積極的に取り組む必要があるかと考えます。
	・巡回訪問件数	500件	548件		
	・事業計画策定セミナー受講者数	40件	0件		
	・事業計画策定事業者数	50件	32件		
	創業計画策定支援目標数				
	・創業セミナー開催回数	2件	1件		
	・創業セミナー受講者数	15件	4件		
・創業計画策定支援事業者数	10件	10件			
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】	フォローアップ事業所数 (専門家派遣回数による)	50回	36件	B	(意見) 計画策定後の進捗状況、実行状況の管理は重要な業務ですが、会議所としては特に課題のある事業者を重点的に支援するといった方法も検討すべきかと思えます。今後、オンラインでのフォローアップを取り入れたり、事業引継ぎ支援センターと連携してみてもどうでしょうか。
5. 需要動向調査に関すること【指針③】	需要動向調査におけるセミナー	2回		E	(説明) 需要動向調査は計画認定の必須項目であるが、伴走補助金を活用して外部調査期間に依頼しているところがほとんど。当会議所では平成29年度申請は不採択であった。 (意見) かなりハードルが高いイメージがあります。ただ、目標数値を設定された以上は、達成に向けて方向性や手法を検討すべきだと思います。 需要動向については事業者が独自で調査することは困難であり、会議所がその役割を果たせるのであれば、非常に有用であると考えます。計画にあるアンケート調査等の他、運営されている特産館の傾向分析など、まずできることから始めていただきたいと思えます。
	商業の需要動向調査	20回			
	製造業の需要動向調査	10回			
	需要動向調査回収数	1000枚			
	業種別・品目別調査の要約版作成回数	4回			
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】	展示会・商談数の出展回数	7社	2社	D	(意見) ビジネスモールの商談掲載数、商談成約数が3年間ゼロという結果ですが、積極的な活用を促すことが出来ないかの検討をお願いしたいと思います。また、現在ではSNS等も重要な営業ツールとなってきましたので、効果的な活用についても検討いただきたいと思います。 なお、展示会・商談会は、各金融機関でも開催しており、このような情報の提供が不十分な可能性もあるので、反省し連携強化していくことが重要なのではないかと思います。
	展示会・商談会の商談成約件数	1社	2社		
	ビジネスモール新規登録事業者数	3社	1社		
	ビジネスモール商談掲載数	20社	0社		
	ビジネスモール商談成約数	2社	0社		
II. 地域の活性化に資する取り組み	あやべ産業まつり			C	(意見) あやべ産業まつりについては、台風被害や近隣等との兼ね合いにより、規模が縮小したものの、開催のために継続して尽力されていることが評価できます。また、来場者数は天候にも左右されます。
	・開催回数	1回	1回		
	・出展者数	60事業所	59事業所		
	・来場者数	10,000人	7,700人		
	商店街支援	2件	4件		
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上の取り組み	ものづくり連携会議	月1回	10回	B	(説明) 各会議によって、年度ごとに会議の頻度が決定されるので、当初の計画と目標数値が異なることがある。また、参加者の都合によって変更される。 (意見) 各機関との連携会議を継続して実施できていることは評価できることかと思えます。今後はこの結果を、事業者の経営力向上や地域活性化につなげていただきたいと思えます。 (意見) 会議を合同で行い、幅広い意見交換、現状把握、課題解決の糸口把握などのつなげることを検討してはいかが。
	商工ネットワーク会議	月1回	10回		
	商工懇談会	月1回	10回		
	綾部市空き家媒介事業者紹介事業	2月に1回	6回		
	雇用促進連携会議	月1回	12回		
	あやべ特産館連携会議 (あやべグンゼスクエア連携会)	月1回	10回		

■日本商工会議所 経営発達支援事業実施状況調査におけるPDCA評価より

A:目標を達成することができた。(100%以上) B:目標を概ね達成することができた。(80%~99%)

C:目標を半分程度しか達成することができなかった(30%~79%) D:目標をほとんど達成することができなかった(30%未満) E:未実施